



慶應義塾大学

論理と感性のグローバル研究センター

2018年度末公開成果報告会

日時: 2019年2月28日(木) 13:00~17:40 参加自由・事前登録無し
場所: 慶應義塾大学三田キャンパス 南館 B4F ディスタンスラーニングルーム

<https://abelard.flet.keio.ac.jp/seminar/annual-meeting-logic-sensitivity-2018/>

(プログラムの最新情報は上の URL をご覧ください)

Global Research Centre for
Logic and Sensibility

Session I Communication & Interaction

13:00~

発達科学グループ(司会: 皆川泰代)

関根和生(本センター)

子どもは談話における身振りをどのように理解しているか?

生物心理学グループ

伊澤栄一(文学部)

個体間の親和的関係の形成メカニズム

ロボット工学・AI グループ(司会: 岡田光弘)

大澤正彦(理工学研究科 今井倫太研究室)

Human-Agent Interaction 研究—ドラえもんの実現に向けて

遺伝と教育グループ

安藤寿康(文学部)

家庭環境は環境か—親子間コミュニケーションによる文化伝達の行動遺伝学的研究

Session II Culture & Art 14:15~

文化人類学グループ(司会: 北中淳子)

山田理恵(東京大学総合文化研究科)

日本の「難病」研究から再考する拒食症の医学史

牛山美穂(大妻女子大学人間関係学科)

医師の「専門知」と「患者の知」をめぐる医療人類学的研究: アトピー性皮膚炎を事例に

民族学考古学グループ(司会: 杉本智俊)

長尾琢磨(文学研究科)

墓形態からみる古代ユダヤ人の死生観—エルサレムとヘレニズム都市の墓から—

美学美術史グループ(司会: 遠山公一)

小野智恵(本センター)

ポスト古典的ハリウッド映画における視線と台詞のパラゴニー

哲学グループ(司会: 柏端達也)

源河亨(東京大学総合文化研究科・日本学術振興会)

音楽とユーモア

Session III Research Ethics · Responsibility

· Judgment 15:30~

倫理学グループ

奈良雅俊(文学部)

社会科学・行動科学研究における倫理

社会心理学グループ

平石界(文学部)

心理学における再現性問題: 極めて心理学的な心理学者

認知神経科学グループ(司会: 梅田聡)

大隅尚広(国立精神・神経医療研究センター)

責任能力の指標の探究: 自己の行動の結果に対する事象関連電位

認知心理学グループ

伊東裕司(文学部)

司法における「確証バイアス」

Session IV Imaging · Prediction · Decision

16:40~

倫理学グループ(司会: Ertl, Wolfgang)

Istvan Zoltan Zardai(文学部・日本学術振興会)

AI, Decisions and Responsibility

発達科学グループ(司会: 山本淳一)

山本淳一(文学部)

Social Imaging: Innovation for Development and Education

感性科学グループ(司会: 川畑秀明)

田中拓海(社会学研究科)

行為結果の予測に關与する報酬手がかり処理の検討

Closing Address

渡辺茂(慶應義塾大学名誉教授)

空間認知研究のモデル動物としてのウナギ

Closing 17:40~



主催: 慶應義塾大学 論理と感性のグローバル研究センター (<http://www.carls.keio.ac.jp/gcarls/>)
お問い合わせ先: 本報告会事務局 (e-mail: logic@abelard.flet.keio.ac.jp)